

宿場町台ヶ原宿

山梨県北杜市にある宿場町で、江戸・甲州・信州を結ぶ甲州街道沿いにあります。江戸時代には、旅人の休憩所として多くの旅館が軒を連ねていました。

現在では、住民の努力により、街並みや景観が保存されています。南アルプスに近く、山梨県の名水が豊富にあることも魅力のひとつです。そのため、台ヶ原宿とその周辺は、飲料メーカー、酒造メーカー、蒸留所にとって魅力的な場所となっています。

七賢酒蔵

台ヶ原の定番といえば、1750年創業の「七賢酒蔵」。この蔵は、北原家に代々受け継がれてきました。明治時代に日本に西洋文化や制度が導入される前は、日本酒が好まれていました。

国内屈指の酒造メーカーとして、北原家は山梨県内はもとより、全国的にも大きな富と尊敬を集めていました。1880年（明治13年）、明治天皇が七賢に一時泊されました。彼が宿泊した宿舎は博物館となり、文化遺産に指定されています。

2017年には、東京都内で開催された日本酒のコンクールで1位を獲得しました。現在は、七賢酒蔵の見学や資料館の見学、日本酒の試飲などができます。

金精軒台ヶ原製菓店

1902年（明治35年）に創業した金精軒は、今では山梨のお菓子として親しまれている信玄餅を發明したと言われています。

金精軒の商品は全国のお土産屋さんで販売されていますが、水信玄餅が食べられるのは「金精軒台ヶ原店」と「韮崎店」だけです。金精軒の小野光一社長が、山梨県の山の湧き水を味わい、「レインドロップケーキ」を広めたのが始まりだという。国内外の観光客の注目を集め、期間限定で販売されています。

尾白川溪谷

台ヶ原宿は、現在はユネスコエコパークに指定されている尾白川溪谷の近くにあり、この谷は南アルプス生物圏保護地域に属しており、台ヶ原宿から車で10分ほどで行くことができます。溪谷は花崗岩で埋め尽くされており、山から流れ出る水をろ過しています。滝や川の水はとても澄んでいて、水源からの水をそのまま飲むことができると言われています。

レストラン・宿泊施設

台ヶ原宿にはカフェやレストランが多く、そのほとんどが地元の食材を使った料理を提供しています。旅館の多い街ではなくなりましたが、近くの北杜には宿泊できるホテルがたくさんあります。